

【抗議声明】

後期高齢者医療費窓口負担「2倍化法案」の強行採決に 抗議し、即時撤回を求めます！！

政府は、全国で100万筆を超える2割化反対を求める署名の声を無視し、5月11日に衆議院本会議において、自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の賛成多数で「2倍化法案」を強行採決しました。今集中して国が取り組むことは新型コロナウイルス感染症への対応であり、そもそも後期高齢者の窓口負担増の法案を審議すべきではありません。高齢者をはじめ、多くの国民の反対や慎重対応の声を無視し、強行採決したことに対し断固抗議し、即時撤回を求めます。

後期高齢者の医療費窓口の2倍化は、政府の推計でも1人あたり年平均3万4千円の負担増となります。公的年金が抑制され、収入が増えない高齢者にとっては深刻な事態です。福岡医療団が実施した「75歳以上後期高齢者の医療費窓口負担増に関するアンケート」では、医療費以外に削るものとして“食費を削る”という回答が多くなっています。このことが、まさに現実問題となりかねません。

今、政府が国会で審議、推進すべきことは、深刻化する医療崩壊をどうやって食い止めるか、新型コロナウイルスワクチン接種やPCR検査を拡充するための体制の構築、オリンピック・パラリンピック中止の決定、そして、コロナ禍で困窮する国民の医療を保障し、困窮者を救済することなどのコロナ対策です。

受診抑制を拡大させ、経済的理由による手遅れ死亡につながる2倍化を押し進めることは、国民のいのちと健康を守ることとは正反対であり、断じて許されません。後期高齢者医療費窓口負担「2倍化法案」の即時撤回を求めます。

以上

2021年 5月18日
公益社団法人福岡医療団
理事長 舟越 光彦